



杉並

区労連便り

杉並区労働組合総連合
2022. 8. 23 (火)
TEL FAX 5941-5332

7月11日 岸本聡子さん、杉並区長に就任

区民の声に耳を傾ける新しい杉並区政へ

6月19日投票、翌20日に開票されて杉並区長選挙は、その差187票差で岸本聡子さんが当選しました。まさに劇的な勝利でした。

何といても候補者が素晴らしかったですね。「みんなのまちはみんなでつくる」という政治姿勢や区政政策、公共政策研究者という経歴。3つの道路問題。児童館つぶし。行政の私物化。議会でのごうまんな態度に「区民の声を聞かない区長はもうごめん」という思うが、岸本さんへの期待につながっていきました。

選挙戦は、一日何度も本人が参加する駅頭宣伝やタウンミーティング、一人でもやる一人街宣、民商の車を借りた宣伝は区内を4巡。全戸ビラ配布。SNSの活用。多くの区民が我がごとのように参加する中で、次第に街の雰囲気が変わってきました。

原水爆禁止署名運動、教科書運動、脱原発デモ、野党一本化での総選挙勝利。草の根の市民が中心になり野党が共闘（形は色々ある）すれば勝てる。杉並区長選は改めてこのことを実証したのではないのでしょうか。

今後は広く区民の声と知恵を集め、住んでよかった、働いてよかったというような杉並区政の発展を願い、区労連もしっかりと岸本区政を支えていきましょう。



7月11日初登庁。大勢の区民の拍手に迎えられる



5月20日、区労連推薦を決める。岸本さんを囲んで

今こそ核兵器の禁止を 7月25日杉並平和行進

出発式で、杉並区長岸本さんがあいさつしました。出発式に50人が参加、25人が行進しました。



参議院
選挙
東京
選挙区

立憲野党が3議席・大健闘

投票率56.55% 全国で3位得票合計 野党が与党上回る

参議院選と杉並の教訓：政治を変えるには、 市民と野党の共闘を本気で進めること

参議院選東京選挙区
(改選数6)の得票比較

	政党	氏名	得票
①	自民	朝口健太郎	92万2793
②	公明	竹谷とし子	74万2968
⑤	自民	生稲晃子	61万9792
		合計	228万5553
		得票率	36.3%

	政党	氏名	得票
③	共産	山添拓	68万5224
④	立民	連舫	67万0339
⑥	れいわ	山本太郎	56万5925
		+	
	立民	松尾明弘	37万2064
	社民	服部良一	5万9365
		合計	235万2917
		得票率	37.4%

(東京新聞7月12日朝刊より)

参議院選挙後の焦点①

《最低賃金…低額答申に怒り》

引上げ東京はたった31円。10月から1,072円。

円安、物価高の中で、国民の生活を守るためには賃金を上げることがどうしても必要だと大きな世論になりました。先進国の中でも賃金水準が下がっているのは日本だけ。一方で、大企業の内部留保はコロナ禍でもこの1年間で10兆円の増加。こうした中で、8月2日、中央最低賃金審議会が出した答申はたった31円の引き上げでした。これを受けた8月5日の東京都の審議会も31円引き上げ1,072円にするという答申でした。これでは、物価値上がり分にも追いつかない全くひどい答申です。

私たちは要求します。全国一律制度に改め1,500円にすること、アベノミクス減税でたまった内部留保に課税し、最賃引き上げと中小企業支援をセットで行うこと。消費税は下げ、インボイスは中止すること。

参議院選挙後の焦点②

《コロナ対策…政府の無為無策》

病院につながらない、かかれない。7波でもこの有様

皆さん、お体の調子は如何でしょうか？ 今、コロナの感染が猛烈な勢いで広まっていますが、問題は病院に電話をしてもつながらない、つながっても診察予約もできないという大変な医療崩壊が起きていることです。今や自宅療養は当たり前になり、亡くなる人も増加しています。医療現場はそれこそ必至で頑張っているのにです。いったい今まで、自公政権は何をしているのでしょうか。

私たちは要求します。国や都は、発熱外来をもっと増やして受診体制を保障せよ。保健所の人員を増やして体制を強化せよ。医療現場の奮闘を支援し、医療体制充実のためにもっと予算措置をとれ。

参議院選挙後の焦点③

《憲法改悪ストップ！》

国民の暮らしや医療の問題に加えて「統一協会」と「国葬」の問題が大問題になっています。「国会を開け」という野党の憲法上の要求に対して与党は「応じない構え」です。戦争をするための9条改悪、緊急事態条項の新設などともありません。そんなことを考える前に国民の命と暮らし、憲法を守れ！

元のページに戻すには [パソコン画面上部の ← をクリックします。](#)